

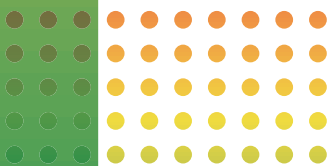
2021

VISION FOR ARTS AND CULTURE

第3期
芸術文化振興ビジョン

令和3年3月 兵庫県

HYOGO Prefecture



目次

I	芸術文化振興ビジョンの改定にあたって	4
II	芸術文化振興ビジョンの基本的な考え方	
1	芸術文化の意義	5
2	芸術文化の機能と役割	6
3	対象とする芸術文化の範囲	7
III	第2期ビジョンの取組と成果	
1	第2期ビジョンの概要と主な取組	8
2	兵庫県の芸術文化を取り巻く環境の変化	11
3	検証と課題	16
IV	第3期ビジョンのめざす姿	
1	基本的な考え方・基本目標	18
2	基本方向	19
3	重点取組項目	21
4	成果指標の設定	22
V	課題と展開方向	
1	芸術文化を創造・発信する	23
2	芸術文化の“場”を育て拡げる	30
3	文化力を高め、地域づくりに活かす	37
4	みんなで支え、総合的に取り組む	44
5	ポストコロナ社会への対応	47
	資料編	
1	第3期芸術文化振興ビジョン概要	52
2	令和3年度主要施策体系表	54
3	関係データ集	58
4	用語解説	65
5	芸術文化振興ビジョン改定の経緯	67

はじめに

人々に“生きる喜び”や“明日への希望”を 与えてくれる芸術文化。



あの阪神・淡路大震災でも、被災者を励まし、創造的復興への大きな力となったのが芸術文化でした。

兵庫県では、震災の経験と教訓、芸術文化の意義や重要性を踏まえ、21世紀の成熟社会にふさわしい県の芸術文化振興の指針として、平成16年に「芸術文化振興ビジョン(第1期ビジョン)」を策定しました。あわせて、震災復興、文化の復興のシンボル「兵庫県立芸術文化センター」、「兵庫県立美術館」をはじめ、全国トップレベルの芸術文化の拠点づくりを進めてきました。

本年4月には、豊岡市に「芸術文化観光専門職大学」を開学し、演劇による学びを通じて、地域と世界で活躍できる人材の育成に取り組めます。

私たちが掲げる目標は「芸術文化立県ひょうご」です。芸術文化が暮らしに息づき、人や地域を元気にする社会の実現をめざし、幅広い取り組みを展開してきました。

「第2期ビジョン」(計画期間:平成27年～令和2年)の期間中には、「子ども伝統文化わくわく体験教室」や「ひょうごの文化発信リーディング事業」など新たな取り組みを開始。兵庫芸術文化センター管弦楽団(PACオーケストラ)やピッコロ劇団によるアウトリーチ活動、市町ホールの活性化に向けた支援など、県民が身近な地域で芸術文化に親しむことのできる環境づくりも進めました。

しかし今、新型コロナウイルス感染症によって、芸術文化を取り巻く環境は大きく変化しています。県内でも公演や展覧会などが延期や中止、規模の縮小を余儀なくされ、私たちが芸術文化に触れる機会が奪われています。

コロナに負けず、活動を続ける芸術家への支援を継続するとともに、動画配信やICTの活用など、ポストコロナ社会に対応した芸術文化活動を推進していくことが必要です。

このたび策定した「第3期芸術文化振興ビジョン」では、コロナ禍による状況の変化等を踏まえ、令和3年から令和7年にわたる県の芸術文化振興方策を示しました。基本方向は、①芸術文化を創造発信する、②芸術文化の“場”を育て拡げる、③文化力を高め、地域づくりに生かす、④みんなで支え、総合的に取り組む、⑤ポストコロナ社会への対応の五つ。兵庫が誇る高い文化力を生かした多彩な取り組みを力強く展開していきます。

コロナ禍を乗り越え、人と地域が輝く「芸術文化立県ひょうご」の実現に向け、ともに挑戦していきましょう。

令和3年3月
兵庫県知事

井戸敏三